

工事施行成績評定の改正概要について

1. 工事施行成績評定を取り巻く状況と課題
2. 「高度技術」から「工事特性」へ変更
3. 評価の細分化
4. 評定内容の明確化
5. 「社会性等（地域への貢献等）」の追加
6. 評定者の変更

北 海 道 建 設 部

1. 工事施行成績評定を取り巻く状況と課題

【取り巻く状況】

【工事施行成績評定の法的な発注者の責務】

- 公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成 17.4.1 施行）
第6条（発注者の責務）
 - ・公共工事の発注者は、～工事の監督及び検査並びに工事中及び完成時の施工状況の確認及び評価その他の事務を適切に実施しなければならない。

【国の改正】

- 平成21年3月改正・4月1日から適用
- 改正内容
 - ・「高度技術」から「工事特性」に見直し
 - ・評価の細分化（評価項目の一部を5段階から7段階評価）
 - ・評定内容の明確化

【工事施行成績の積極的な活用】

- 入札参加資格審査（格付け）における活用
 - ・技術・社会的要素としての加算点の引き上げ
- 総合評価方式における技術評価点での活用
 - ・過去2年間の工事成績に応じた加点、優良業者等の加点
- 入札参加要件における工事施行成績の設定の試行
 - ・2, 500万円未満の工事での入札参加要件での活用
- 優良業者等表彰の選考基準での活用

【前回(H14.3)改正時からの大きな環境変化】

- 工事施行成績評定の重要性増大
 - ・公共工事の品質確保のため、工事施行成績を積極的に活用していることから重要性が高まっている。
- <発注者の環境変化>
- 一般競争入札の拡大
 - ・1千万円以上は原則一般競争入札(H20.4以降)
- 総合評価方式の拡大
 - ・技術提案、施工計画、施工実績、施工体制などを評価
- <受注者の環境変化>
- 競争環境の激化（低入札工事の増大）

工事施行成績評定の重要性が増す中で、工事施行成績評定のあるべき姿を再整理する必要がある。

【課題】

I 技術力の評価において、これまで以上にきめ細かな評価を行う必要がある。 関連項目 3. 評価の細分化

II これまで以上に工事間の技術力の差を明確に評価するため曖昧な表現を解消する必要がある。 関連項目 2. 工事特性に変更 4. 評定内容の明確化

III 周辺地域に貢献する等の積極的な取組に対し適切に評価する必要がある。 関連項目 5. 社会性等の追加

IV 企業の技術力を一層、適切に評価する必要がある。 関連項目 6. 評定者の変更

成績評定の改正 → 平成22年4月1日以後に完成する工事から適用する。

2. 「高度技術」から「工事特性」へ変更

① 考査項目の名称を「高度技術」から「工事特性」へ変更する。

- ・「高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術进行评估するものである。」という注釈がついていることから、評価しづらかった。
- ・都市部での工事や期間が長い工事は、必ずしも高度な技術のみが求められるものではなく、適正な施工を継続的に行っていること等の工事の特性を評価する必要がある。
- ・「特異な技術といった観点」から、「施工困難等の工事の特性への対応を評価する観点」へ考査項目の名称を見直す。

② 考査項目の具体的な施工条件等の対応事例を整理し、評価対象項目を明確にする。

【改正前】「高度技術」

- 施工規模の大きさへの対応
- 構造物固有の難しさへの対応
- 技術固有の難しさへの対応

- 厳しい周辺環境等、社会条件への対応

- 厳しい自然・地盤条件への対応

- 施工現場での対応

- その他

【改正後】「工事特性」

- I 構造物の特殊性への対応

- II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応

- III 厳しい周辺環境等・社会条件への対応

(追加)

- IV 長期工事における安全確保への対応

(創意工夫へ移行)

(削除)

③ 「工事特性」の改正例

【改正前】

【記入方法】 該当する項目に2点を入れる。

工事成績採点の審査項目別運用表

審査項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 高度技術	ネットワーク評価	<p>■ 施工規模の大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他（理由： _____）</p>	<p>【施工規模が大規模】 下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合</p> <p>・切土・盛土大 15万m³ < V ・護岸・築堤高 10m < H ・浚渫工 100万m³ < V ・トンネル(ｼｰﾙﾄﾞ) 10m < φ ・樫門・樫管 15m² < A ・揚排水機場 2400mm < φ ・堰、水門 最大径間長 25m 以上又は径間数3径間以上 ・トンネル(開削工法) 20m < H ・トンネル(NATM) 内空断面積 85m² < A</p> <p>・トンネル(沈埋工法) 300m² < A ・海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤、水深10m < H ・地滑り防止工 100m < W 又は 150m < L ・流路工 500m³ < Q ・砂防ダム 30m < H ・ダム高 150m < H</p> <p>・転流トンネル 400m² < S ・橋梁下部工 高さ 30m < H ・橋梁上部工 最大支開長 100m < L</p>
		<p>■ 構造物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚やトンネル線形等を含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他 _____</p> <p>■ 技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 工種及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 農地と密接に関係して行う工事</p> <p><input type="checkbox"/> 9. その他（理由： _____）</p>	<p>【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】</p> <p>・地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。</p> <p>・砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。</p> <p>・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。</p> <p>・供用中の道路トンネルの活線拡幅工事等。</p> <p>・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。</p> <p>・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事</p> <p>・その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事等。</p> <p>・VE提案された工法等が高度技術で評価できる場合</p> <p>・ほ場の作物環境に配慮して行う工事（区画整理、客土、暗渠排水等の面工事）</p>



【改正後】

【記入方法】 該当する項目に4点を入れる。

工事成績採点の審査項目別運用表

審査項目	細別	対応事項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性		<p>I 構造物の特異性への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. その他（理由： _____）</p> <p>※上記の対応事項が1つ以上あれば4点の加点とする。</p>	<p>(1. について)</p> <p>・切土 20万m³ < V ・盛土 15万m³ < V ・護岸・築堤高 10m < H ・浚渫工 100万m³ < V</p> <p>・トンネル(ｼｰﾙﾄﾞ) 8m < φ ・樫門・樫管 15m² < A ・揚排水機場 2000mm < φ ・堰、水門 最大径間長 25m 以上、径間数3径間以上又は扉面積 50m² < A ・トンネル(開削工法) 20m < H ・トンネル(NATM) 内空断面積 100m² < A ・トンネル(沈埋工法) 300m² < A ・海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤、防波堤又は岸壁 水深10m < H ・地滑り防止工 100m < W 又は 150m < L ・流路工 500m³ < Q</p> <p>・砂防ダム、治山ダム 15m < H ・ダム高 150m < H ・転流トンネル 400m² < S ・橋梁下部工 高さ 30m < H ・橋梁上部工 最大支開長 100m < L ・魚礁沈設工 水深 220m ≦ H ・海上盛砂工 2万m³ < V ・治山山腹工 150m < L ・林道土工 1万m³ < V</p> <p>(2. について)</p> <p>・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。</p> <p>・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。</p> <p>・供用中の道路トンネルの拡幅工事。</p> <p>(3. について)</p> <p>・その他、構造物の規模や形状以外の難しさへの対応が特に必要な工事。</p> <p>・地山強度が又は土被りが薄いため、FEM解析による検討が必要な工事。</p>

3. 評価の細分化

①評価を5段階から7段階へ細分化する。

- ・ a、b、c 評価間の点数差が5点以上ある評価項目について a'、b' を設置し、5段階から7段階評価とする。
- ・ 評価を細分化することで技術力の差異を表現できるきめ細かな技術評価へ変更する。
- ・ 対象項目は検査員が評価する「出来形」及び「品質」とする。

②検査員の考査項目の参考例：「品質」

【改正前】

平成20年度 土木現業所の成績評定件数

評 定 点	a (+ 15.0)	b (+ 7.5)	c (0)	d (- 12.5)	e (- 25.0)	計
評定件数	2,073 件	785 件	55 件	0 件	0 件	2,913 件

【改正後】

評 定 点	a (+ 15.0)	a' (+ 12.0)	b (+ 7.5)	b' (+ 4.0)	c (0)	d (- 12.5)	e (- 25.0)
-------	------------	-------------	-----------	------------	---------	------------	------------

③ 「品質」の改正例（土工事の例：ばらつきが規格値の50%以内の場合）

【改正前】[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

考查項目	工種	a	b	c	d	e	
3.出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	品質管理関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが規格値の80%以内であるものを、評価対象項目の評価率でa, b, c評価を行う。		品質管理関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	品質管理関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが多い。	品質管理関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		該当	評価	「評価対象項目」		評価	評価
		1	1	<input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施行している。		<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第16条に基づき破改造の請求または破壊検査を行った。
		1	1				

1		<input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> 盛土に際し、適切に伐開除根されている。 該当項目の内達成項目が80%以上・・・a 該当項目の内達成項目が60%～80%未満・・・b 該当項目の内達成項目が60%未満・・・c ※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。	上記項目に該当があれば・・・d	上記項目に該当があれば・・・e
1	1			
10	8			
評価率	80%			
評定	a			
点数	15			



【改正後】[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）						
		該当	評価	「評価対象項目」		評価	評価	評価
		1	1	<input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		1	1					

1		<input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由）	「判断基準」 「品質関係の試験結果のばらつき」 <input checked="" type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価率</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価率	ばらつきで判断可能			50%以内	80%以内	80%を超える	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価率	ばらつきで判断可能																										
	50%以内				80%以内	80%を超える																					
90%以上	a				a'	b																					
75%以上90%未満	a'				b	b'																					
60%以上75%未満	b	b'	c																								
60%未満	b'	c	c																								
1	1																										
10	8																										
1																											
評価率	80%																										
評定	a'																										
点数	12	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。																									

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

4. 評定内容の明確化

考査項目別運用表の判断しづらい表現について、できる限り具体的に示すとともに、全体を通して統一し、よりわかりやすくする。

①曖昧な表現の明確化

【改正前】【配置技術者】（曖昧な表現の明確化）

監督員
<input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、 <u>指針等を良く理解し、現場に反映して</u> 工事を行っている。
<input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は <u>適切に</u> 対応している。
<input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の <u>困難克服</u> に努めている。



【改正後】

監督員
<input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、 <u>適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映</u> している。
<input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、 <u>工事監督員と協議する</u> などの必要な対応を行っている。
<input type="checkbox"/> <u>施工上の課題となる条件</u> （作業環境、気象、地質等）への対応を 図っている。

【改正前】【施工管理】（書類の簡素化を阻害する表現の変更）

監督員
<input type="checkbox"/> 日常の出来形管理が <u>社内検査等</u> で適時、的確に行われている。
<input type="checkbox"/> 日常の品質管理が <u>社内検査等</u> で適時、的確に行われている。



【改正後】

監督員
<input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、 <u>設計図書及び施工計画書に基づき適時</u> 的確に行っている。
<input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、 <u>設計図書及び施工計画書に基づき適時</u> 的確に行っている。

②各評価者の評価内容の明確化

【改正前】

監督員と検査員の評価内容が全く同じ	
監督員	検査員
<input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時的確になされている。	<input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時的確になされている。
<input type="checkbox"/> 建設副産物の処理及びリサイクルの取組が適切になされている。	<input type="checkbox"/> 建設副産物の処理及びリサイクルの取組が適切になされている。

【改正後】



監督員：日常的な視点からの評価対象項目に変更	検査員：工事全体にわたる視点からの評価対象項目に変更
監督員	検査員
<input type="checkbox"/> <u>工事記録の整備が適時的確になされている。</u>	<input type="checkbox"/> <u>工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</u>
<input type="checkbox"/> <u>建設副産物の再利用等への取組を適切に行っている。</u>	<input type="checkbox"/> <u>建設副産物の再利用等への取組を行っていることが確認できる。</u>

③検査員が評定する「出来ばえ」の評価方法の変更

現行の評価方法は、該当数のみで評価を行っていたが、より適切な評価となるよう、該当項目数に対する達成度合いで評価をするように変更する。

「出来ばえ」の改正例

【改正前】（河川工事の例：該当項目5項目の場合）

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

（土木・検査員用）

考査項目	工 種	a	b	c	d	
3. 出来形及び出来ばえ	河川工事	仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい。		他の事項に該当しない。		
		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。				
Ⅲ. 出来ばえ	河川工事	該当	「評価対象項目」			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 該当5項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d </div>
		1	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。			
		1	<input type="checkbox"/> 通りが良い。			
		1	<input type="checkbox"/> 端部処理が良い。			
		1	<input type="checkbox"/> 植生・吹き付け等の状態が均一である。			
		1	<input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。			
		<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				
評価		b				
点数		2.5				

他の事項に該当しない。



【改正後】

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

（土木・検査員用）

考査項目	工 種	a	b	c	d																				
3. 出来形及び出来ばえ	河川工事	優れている。		やや優れている。																					
		劣っている。																							
Ⅲ. 出来ばえ	河川工事	該当	評価	「評価対象項目」																					
		1	1	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。																					
		1	1	<input type="checkbox"/> 通りが良い。																					
		1	1	<input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。																					
		1	1	<input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラック（無害なクラックを含む）がない。																					
		1	1	<input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。																					
		<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																							
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>該当項目が6項目の場合</th> <th>該当項目数が5項目の場合</th> <th>該当項目数が3～4項目の場合</th> <th>該当項目が2項目以下の場合</th> </tr> <tr> <td>5項目以上評価・・・a</td> <td>4項目以上評価・・・a</td> <td>3項目以上評価・・・a</td> <td>1項目以上評価・・・c</td> </tr> <tr> <td>4項目以上評価・・・b</td> <td>3項目以上評価・・・b</td> <td>2項目以上評価・・・b</td> <td>評価項目なし・・・d</td> </tr> <tr> <td>3項目以上評価・・・c</td> <td>2項目以上評価・・・c</td> <td>1項目以上評価・・・c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2項目以上評価・・・d</td> <td>1項目以上評価・・・d</td> <td>評価項目なし・・・d</td> <td></td> </tr> </table>				該当項目が6項目の場合	該当項目数が5項目の場合	該当項目数が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c	4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	3項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1項目以上評価・・・c		2項目以上評価・・・d	1項目以上評価・・・d	評価項目なし・・・d	
該当項目が6項目の場合	該当項目数が5項目の場合	該当項目数が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合																						
5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c																						
4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d																						
3項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1項目以上評価・・・c																							
2項目以上評価・・・d	1項目以上評価・・・d	評価項目なし・・・d																							
評価		a																							
点数		5.0																							

5. 「社会性等（地域への貢献等）」の追加

①地域社会への貢献

これまでの成績評定では、山間部と都市部の地域差等により公平な評定が難しいことから、「社会性等」について評価していなかった。

しかし、請負人からは「社会性等」について、多くの提案がされており、「社会性等」の評価方法を明確にし、行政の施策に対応した環境保全などの取組についても評価に取り入れることにより、山間部における地域貢献等も評価できることから、「社会性等」を評価項目に追加し、請負人が実施している取組を評価する。

②「社会性等」の評定者

- ・ 広い視野から判断し、客観的で統一した評価が必要である。
- ・ 事務所内でのバラツキが無い評価が必要である。
- ・ 評定結果の説明責任が求められる。



評定者は、総括監督員とする。

③「社会性等」の評価項目

次の取組について、「社会性等」として評価を行う。

- ・ 周辺環境への配慮に関する積極的な取組
- ・ 環境保全に関する積極的な取組
- ・ 地域とのコミュニケーションに関する積極的な取組
- ・ 災害時等における地域への支援又は救援活動への積極的な協力
- ・ 地域の清掃、草刈りなどの積極的な取組

④「社会性等」の評価方法

【社会性等の該当要件】

- ・ 請負人から報告、もしくは提案があり、実施したものを評価する。
- ・ 工期内に工事箇所及び工事施工に係る範囲で地域への貢献等を行った場合に評価する。
- ・ イメージアップ経費を用いた活動は評価しない。

【評点方法】

次表の項目のうち、1項目1点として最大4点を加点する。

工事成績採点の考査項目別運用表

(土木・総括監督員用)

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

考査項目	細別	社会性に関する事項	
6. 社会性等	地域への貢献等	<input type="checkbox"/> 1. 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。	
		<input type="checkbox"/> 2. 環境保全に関して積極的に取り組んだ。	
		<input type="checkbox"/> 3. 地域との積極的なコミュニケーションを図った。	
		<input type="checkbox"/> 4. 災害時等において、地域への支援又は救援活動への積極的な協力を行った。	
		<input type="checkbox"/> 5. 地域の草刈、清掃などを積極的に実施した。	
		<input type="checkbox"/> 6. その他 ()	
		小計	4 点
		評点	4 点
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に評価すべき社会性等に関する事例を加点評価する。 ・ 加点は+4点から0点の範囲とする。 1項目1点を目安とする。

6. 評定者の変更

① 監督員及び主任監督員から総括監督員に変更

考 査 項 目	改 正 前	改 正 後
工事特性 (加点のみ)	監 督 員	総括監督員
創意工夫 (加点のみ)		
社会性等 (加点のみ)	評価していない	
法令遵守等 (減点のみ)	主任監督員等	
その他 (減点のみ)		

【変更理由】

- ・ より客観的で統一した評価が求められている。
- ・ 「工事特性」及び「創意工夫」については、請負人による自己評価の結果（H18～H20 土木現業所試行）においても、他の評価項目と比較して監督員と請負人の評価に大きな較差があった。
- ・ 「工事特性」及び「創意工夫」は、他の工事等と対比して評価する必要があり、より広い視野から判断する必要がある。
- ・ 減点評価においても、説明責任が果たせる。



【上位の監督員に変更することで期待する効果】

- ・ 事務所内での評価のバラツキの解消が期待できる。
- ・ 評定結果に対する説明責任が果たせる。

② 評定者の配分比率

評定者の配分比率については、現行と同様に国土交通省の配分比率、主任技術評価官 40%、総括技術評価官 20%、技術検査官 40%の配分比率を基に設定する。

今回の改正により「社会性等」の評価項目を追加し国土交通省と同様な評価項目となったが、北海道の独自の取組として、国土交通省の主任技術評価官が評価する創意工夫については、北海道では主任監督員等が評価するため、その配点分を監督員から主任監督員へ移行させ、監督員 34%、主任監督員 26%、検査員 40%と設定する。

【改正前】

国	主任技術評価官 (40%)	総括技術評価官 (20%)		技術検査官 (40%)
土木現業所 (H21.7.31 以前)	監督員 (45%)	主任監督員等 (15%)		検査員 (40%)
土木現業所 (H21.8.1 以後)	監督員 (30%)	主任監督員等 (15%)	総括監督員 (15%)	検査員 (40%)

【評定者の配分比率の内訳】 (現行の評価項目の移行)

H21.7.31 以前の監督員 (45%)	(高度技術、創意工夫を移行)	総括監督員の評定配分	
H21.8.1 以後の監督員 (30%)		総括監督員 (15%)	高度技術 8.775% 創意工夫 6.075% ≒ 6% 計 14.850% ≒ 15%

【国を参考にして改正】

国	主任技術評価官 (40%)	総括技術評価官 (20%)		技術検査官 (40%)
北海道 (土木現業所以外)	監督員 (34%)	主任監督員等 (26%)		検査員 (40%)
土木現業所のみ	監督員 (34%)	主任監督員等 (8%)	総括監督員 (18%)	検査員 (40%)

【評定者の配分比率の内訳】 (国の評価項目の移行)

国の主任技術評価官 (40%)	国の総括技術評価官 (20%)	総括監督員の評定配分	
創意工夫 (6%)	6% + 20% = 26%	(評定配分を精査)	
北海道の監督員 (34%)		主任監督員等 (8%)	工事特性 8.385% 創意工夫 7.085% 社会性等 4.680% 計 17.940% ≒ 18%
		総括監督員 (18%)	

③改正後の評定者が評価する項目

これまでは国土交通省と評価項目が異なっていたが、「社会性等」の項目を追加したことにより、評価項目が同じとなった。

項 目	細 別	監督員	主任監督員	総括監督員	検査員
1. 施工体制	I. 施工体制一般	○			
	II. 配置技術者	○			
2. 施工状況	I. 施工管理	○			○
	II. 工程管理	○	○		
	III. 安全対策	○	○		
	IV. 対外関係	○			
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	○			○
	II. 品 質	○			○
	III. 出来ばえ				○
4. 工事特性	I. 工事特性			○	
5. 創意工夫	I. 創意工夫			○	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等			○	
7. 法令遵守等	(工事事故等による減点)			○	
8. その他	(総合評価による減点)			○	
評価する項目数		8項目	2項目	5項目	4項目